

2024



個人 - 団体 - Mice

アヴィニョン、
あなたの旅の目的地
躍動的、革新的で魅力的。

AVIGNON
TOURISME

CRÉATEUR D'EXPERIENCES

www.avignon-tourisme.com



PROVENCE
ENJOY THE UNEXPECTED

目次

- 3 見逃せない
ユネスコの世界遺産を発見しましょう
- 4 教皇庁宮殿
- 5 アヴィニオン橋
- 6 美術館・博物館
- 7 豊かな歴史遺産に
驚嘆する
- 8 文化を
学ぶ。
- 9 プロヴァンス料理を
堪能する
- 10 活気ある街に
魅了される
- 11 バルトラス島で
自然を楽しむ
- 12 アヴィニオン近郊を
観光する
- 18 一年中
驚きの連続
- 20 アヴィニオン近郊
- 21 カスタマイズされたイベントの
実現には
アヴィニオンをお選びください
- 21 アヴィニオンにお越しになるに
は
アヴィニオンが皆様のお役に立たせていただきます
- 22 時間帯・料金



— TOP —
FRENCH *The best way*
CITIES *to experience France*

アヴィニオン・ツーリズム (Avignon Tourisme)
により2019年9月に2150部発行

レイアウト:
Agence Saluces (アヴィニオン)
印刷: Rimbaud印刷会社 (カヴァイオン)

フォトレジット - All Rights Reserved:
Empreintes d'Ailleurs / E. Larrue / Coll. Blachère /
F. Olliver / E. Catoliquot / P. Bar / G. Quittard /
Aurelio Rodriguez / VPA - V. Gillet et A. Hocquel / ©
D.R.



環境保護を推進する私たちの努力の中で、本ガイドブック
は、
環境に優しいIMPRIM'VERT (グリーン印刷) 認定された印
刷会社により印刷されています。
In our ongoing effort to increase environmental
protection, this guide is printed by a green
IMPRIM'VERT printer.

ユネスコの 世界遺産

見逃せない

ユネスコの
世界遺産を発見しましょう



歴史的都市の中心!

1995年より、ユネスコの文化遺産に登録されている、教皇庁宮殿 (Palais des Papes) 並びに、ノートルダム・デ・ドン大聖堂 (la métropole des Doms)、プティ・パレ美術館 (le musée du Petit Palais) を含む司教関連建造物群、アヴィニョン橋 (Pont d'Avignon) と城壁が集まるアヴィニョンの歴史地区は、**壮大で類を見ない建造物群**を成しています。

ユネスコ憲章

2018年、アルル市とアヴィニョン市は、ユネスコの世界遺産をテーマとする名所の観光推進のための共同の取り組みを実現するために、憲章に署名しました。

2019年2月には、ユネスコの世界遺産に登録されている、プロヴァンス地方のその他5つの史跡がこの憲章に加わりました：ポン・デュ・ガール、オランジュの古代劇場、サン・ジル修道院、アルデシュのショーヴェ第二洞窟、マルセイユのル・コルビュジエの集合住宅。



教皇庁 宮殿

『彼らは教皇の宮殿であるアヴィニョンの大文字のAに向かって上った；彼らのまなざしは空の中へと消えてゆく垂直の素晴らしい終幕を探し求めたのだった…』

エルザ・トリオレ

巨大な要塞であると同時に、豪華な宮殿でもある、教皇庁宮殿は、世界最大のゴシック様式宮殿で、シャルトル大聖堂の4倍の敷地面積を誇ります。宮殿内には、大広間、宝物個、礼拝堂、マッテオ・ジョヴァネッティの貴重なフレスコ画で飾られた法王の私室など、25か所の一般公開されている部屋や区画があります。

宮殿では、年間を通して定期的に文化イベントが催されています：テーマに沿った教育的な展覧会やテーマ別見学ガイド、コンサートなど。1947年にジャン・ヴィラル(Jean Vilar)によって始められた、**アヴィニョン演劇祭(Festival d'Avignon)**の上演は、毎年7月に宮殿内の中庭(la Cour d'Honneur)で行われます。



HistoPad (イストパッド)

対話型タブレットHistoPadにより、来館者も楽しみながら見学ができるようになりました。科学委員会が完全監修した華々しい歴史の再現をタブレットで見ることができます。HistoPadは子供向けにインタラクティブで遊び心のある「宝さがし」も提案しています。7か国語対応、HistoPadの使用料金は入場料金に含まれています。



新着情報!

- 教皇庁宮殿の庭園



長年にわたる考古学的調査の後、教皇庁宮殿の庭園が整備され、この中世のエデンの庭の雰囲気と用途、豊かな歴史が復元されました。

2020年2月15日から一般公開されており、今日では見学コースをより豊かにする、重要な部分となっています。

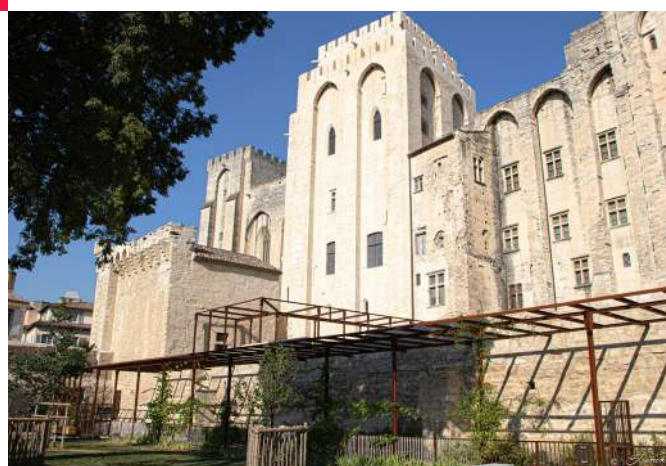
施設内には3つの庭園があります:

ウルバヌス5世の果樹園 (入場無料)

教皇庁宮殿の庭園 (またはベネディクトゥス12世の庭園、1250 m²)、

教皇の庭園 (662 m²)

見学者はしばらくの間、21世紀の喧騒を忘れ、この比類ない場所がもたらす静寂と平安を堪能することができます。



アヴィニョンの橋



アヴィニョン橋の上で、踊るよ、踊るよ…

「世界中のどこに行っても私がアヴィニョンから来たと言うと、相手は『アヴィニョンの橋の上で』を歌うんですよ。いつもそれを不思議に思っていました。マルセイユ人には『マルセイエーズ』、ルルド人には『典礼歌』を歌わないのに…」

アヴィニョン市民のコメント

この有名な橋の建設は12世紀に始まりました。その後何度も損傷を受けましたが、ローヌ川の洪水の後に再建されました。

しかし、改修工事は17世紀に中断されます：本来22つあったアーチは4つのみが残され、現在の個性的な姿になりました。

橋の上の散歩では、ヴィルヌーヴ・レ・ザヴィニョン (Villeneuve lez Avignon)、教皇庁宮殿、城壁、プティ・パレを望む素晴らしい風景を見ることができます。



マルチメディア・タッチスクリーン・タブレット

2つの時代(1350年と1650年)の拡張現実による3つの眺望、オーディオコンテンツ、画像ギャラリー、1550年にいるかのような体験映像、有名なアヴィニョン橋の歴史に関する研究に参加した考古学者や歴史学者たちの証言。

追加料金 2 € (仏語・英語)



オーディオガイドとビデオ

12か国語対応の無料オーディオガイドとビデオが、橋の歴史、歌、聖ベネゼの伝説について語ります。

目をご不自由な方にもご使用いただけるタッチ式のオーディオガイドや、お子様向けオーディオガイド(仏・英語)もご用意しております。

博物館

探究する

イタリア絵画、芸術、彫刻、装飾美術、現代美術などに興味をお持ちですか？
アヴィニョンの博物館・美術館が皆様を歓迎いたします。



Avignon-muséesラベルのアヴィニョン市立美術館(～)はどなたも入場無料です(企画展を除く)。



手頃な料金で観光をお楽しみください

事前購入のパスポートで、アヴィニョンとヴィルヌーヴ・レ・ザヴィニョンの主な観光施設にアクセスできます

24h/48h

AVIGNON
city pass



プティ・パレ美術館 (Musée du Petit Palais) :

14世紀に建造された大司教の館は、現在、プリミティブ・アートとポッティチェリ、カルパッチョ、マルティエーニを含むルネサンス美術専門の美術館として使用されています。必見のお勧めは、ルーヴル美術館から恒久的に寄託された、ポッティチェリの『ヴィーナスと3人の天使』です。



カルヴェ美術館 (Musée Calvet) :

18世紀の見事な私邸内にあるカルヴェ美術館は、カミーユ・クローデルやボナール、シスレーの作品も含む充実したコレクションを所蔵しています。革命軍の少年鼓手の死を描いた、非常に美しい感動的な絵画、『バラの死』(La mort de Bara) (ダヴィッド学派、18世紀)を是非ご覧ください。



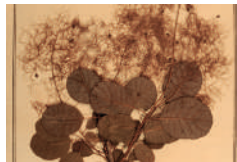
ラピデール博物館 (Le Musée Lapidaire) :

イエズス会団の旧シャペルにあり、カルヴェ美術館の古代芸術ギャラリーでもあるこの博物館は、ギリシア、古代ローマ、ガロ・ローマ時代(当地方で発掘されたものも含む)と初期キリスト芸術のコレクションを展示しています。プロヴァンス地方に伝わる幻想的な動物を描いた、『ノーヴェスのタラスク』(La Tarasque de Noves)は人気のある作品で、この伝説の世界に引き込まれます。



ル・パレ・デュ・ルール (Le Palais du Roure) :

15世紀の旧私邸。現在はプロヴァンス文化・歴史博物館。その和らいた雰囲気の魅力です。



自然史博物館 (Le musée d'Histoire naturelle) :

所蔵コレクションは、プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地域圏で最も豊富な内容であり、地方の自然史博物館としては国内で5番目の規模です。およそ300,000種の植物を集めたエスプリ・ルカン(Esprit Requien)の植物標本に圧倒されます。

ジャン・ヴィラル館 (Maison Jean Vilar) :

ジャン・ヴィラル(1912-1971)の作品や1947年に彼が創設したアヴィニョン演劇祭に関する資料・文献の所蔵、展覧会、出版などを運営。ポスター、原稿、衣装、模型など。アール・ド・ヴィーヴルとフェスティバルを愛するすべての方に!



アングラドン美術館 (Musée Angladon) :

まるで私邸のように改装された18世紀の素晴らしい建物には、オートクチュールの創始者の一人であるジャック・ドゥーセ(Jacques Doucet)の美術コレクションが収蔵されています。18~20世紀の作品:ヴァン・ゴッホ、セザンヌ、ドガ、マネ、シスレー、ピカソ、モディリアーニ、J. ヴェルネ、シャルダンなど。歴史展示室とオリент展示室。多様な展示作品に魅了されるでしょう。



ヴラン美術館 (Musée Vouland) :

庭園が広がる魅力ある私邸内にある美術館。17~18世紀の装飾芸術の豪華なコレクション。コレクションを鑑賞した後は、庭園で寛ぎのひとときをお過ごしください。



ランベール現代美術コレクション (Collection Lambert) :

近代芸術美術館。美術商でありコレクターのイヴォン・ランベール(Yvon Lambert)の贈与によるコレクションを常設展示。ソル・ルウィット、ダグラス・ゴードン、ジャン=ミッシェル・パスキア、アンゼラム・キーファー、ニエレ・トロニ、アンドレス・セラノなど。現代美術アーティストの企画展も開催。さらに:美術館内のレストラン「ヴィオレット」(Violette)の幻想的な雰囲気の中で昼食をお楽しみいただけます。



豊かな 歴史遺産



豊かな歴史遺産に 驚嘆する

アヴィニョンの路地を散歩すること、それは屋外博物館を見学するようなものです。

上を見上げてみてください: マスカロンやガーゴイル、彫像が目に入ることでしょう。

数々の私邸の彫刻が施された門やファサードの前で驚嘆してください。

小さな公園や木陰のある広場に偶然たどり着いて、教会や内庭回廊の門を開けてみれば... 静寂と涼しさを感じることでしょ

ノートルダム・デ・ドン大聖堂 (La Métropole Notre-Dame des Doms)

教皇庁宮殿近くにあり、黄金の聖母像がそびえるロマネスク様式の大聖堂。

さらに: ロシェ・デ・ドン公園 (les jardins du Rocher des Doms) 内を散歩し、近隣の田舎を一望する風景をお楽しみください。

サン・ピエール教会 (La Basilique Saint-Pierre)

木陰のある静かな広場に面したサン・ピエール教会は、富で満ちあふれたフランボアイヤン・ゴシック様式の教会です。

さらに: 夜の素晴らしいファサードが見物です。

シナゴーク (La synagogue)

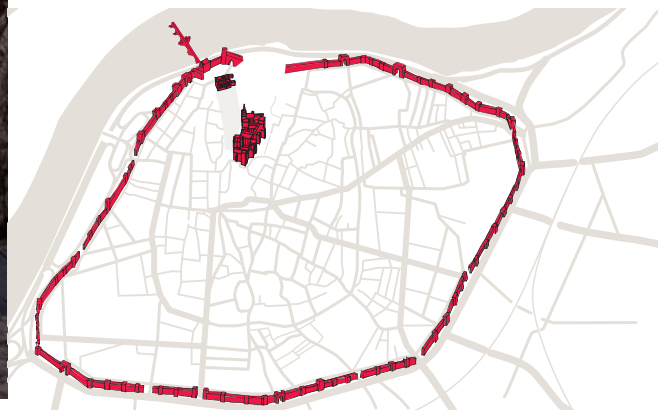
丸みのある形をした世界でも珍しいシナゴークのひとつです。

サン・ヴェラン墓地 (Le cimetière Saint Véran)

パリのパール＝ラシェーズ墓地に並ぶ、フランスで最も古い墓地のひとつ。そこはまるで彫刻と墓石装飾の野外美術館のようです。

オペラ座 (L'opéra)

19世紀の美しいファサードとコルネイユとモリエールの彫像が特徴。



ワイン

文化を 学ぶ

コート・デュ・ローヌのブドウ畑は、AOC（原産地統制呼称）に格付けされたフランス第二のブドウ産地です。アヴィニョンがその中心地であることをご存知ですか？ワインのテイastingとは、名称やヴィンテージを当てることではありません。外観、匂い、味など、異なる感覚を分析することなのです。

楽しくわかりやすい入門講座では、ワインの繊細さすべてを堪能するためのワインテイastingを学んでいただけます。



教皇宮殿正面にある ル・カレ・ドゥ・パレ (le Carré du Palais)

ここにあるワイン学校では、年間を通してテイastingのアトリエのプログラムを提案しています。アンテル・ローヌ (Inter Rhône) の発案で、スズ・ラ・ルス (Suzela-Rousse) のワイン大学と提携して念入りに作られたプログラムは、初心者から知識の豊富なワイン愛好家までどなたでも受講できる内容となっております。

プログラムとご予約：
www.carredupalais.fr/content/9-ecole-des-vins
+ 33 (0)4 90 27 24 70

さらに：ル・カレ・ドゥ・パレは、レストランや800種以上の銘柄を揃えたワインテイastingの場としてもご利用いただけます。営業時間：毎日、8:00～24:00。

楽しむことを知らない方は来館をお控えください！
www.carredupalais.fr



レ・アル(屋内市場)で料理体験を楽しむ あなたの中に眠るシェフの才能を开花させましょう!

カリフォルニア出身の若きシェフ、ジョナサン・チリ (Jonathan Chiri) のカラフルで活気あるアトリエ。アメリカ、ヨーロッパの数あるレストランで経験を積んだ彼は、ここ「ラ・キュイジーヌ・サントラル (la Cuisine Centr'Halles)」に軒を構え、そのエネルギーを料理に注いでいます。歴史ある市場の中心で、レストラン業と同時に料理教室や実演 (料理教室に代わる簡単で楽しい実演) を提案しています。ユーモアあふれる雰囲気も魅力の一部です。

contact@jonathanchiri.com
www.jonathanchiri.com

星付きシェフの創造性を体験しましょう フロラン・ピエトラヴァル (Florent Pietravalle): レトワール・ド・ラ・ミランド (L'étoile de la Mirande)

新たに星を獲得した、この若手シェフは、できる限り地元で素材を仕入れ、2、3週間ごとにメニューを変え、完全なヴィーガンメニューも提供しています。この由緒あるレストランは、こうして新たな時代を迎えました。ミランドの昼食は、シェフの願いによって、手頃な値段で味わえる贅沢となり、今日では、45€でメニューを楽しむようになりました (月曜、木曜、金曜の昼食のみ)。お急ぎご来店ください!

mirande@la-mirande.fr
www.la-mirande.fr

アビニョンの中心街で、知られざる小路の逍遙があなたを待っています。

新しく星を獲得したマシュー・デマレシェフは、明晰でピュアな食材指向の料理を提案します。すなおな味わい、クリエイティブで繊細さを見せる、ユニークなメニュー。バイオダイナミック農法から作られた、厳選され絞り込まれた美味なワイン銘柄をご提供します。

contact@pollen-restaurant.fr
pollen-restaurant.fr

プロヴァンス料理を 堪能する

フロラン・ピエトラヴァル (ラ・ミランド)、有名レストラン、クリスチャン・エティエンヌを受け継いだギレム・セヴァンをはじめ、ジュリアン・グレイズ (Julien Gleize - l'Agape)、マチュー・デマレ (Mathieu Desmaret - Pollen) などの若きシェフ達。真の感動を与えるべく、地元の食材に発想を得ながら独自にアレンジした料理を作り上げています。アヴィニョンでは幅広い選択肢のある上質のレストランを見つけることができます。

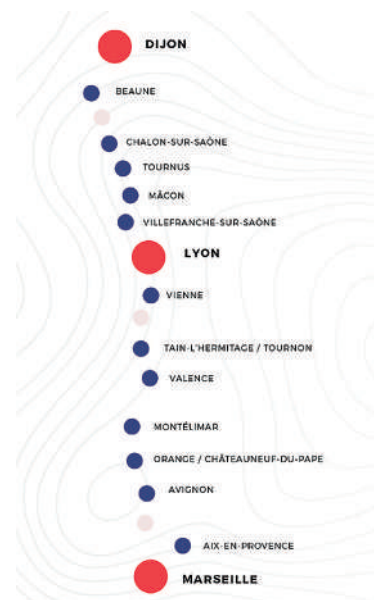


VALLÉE DE LA
GASTRONOMIE
FRANCE

アヴィニョンはヴァレ・ド・ラ・ガストロノミー (Vallée de la gastronomie) に属しています。ディジョンからマルセイユまで、ヴァレ・ド・ラ・ガストロノミーは、ソーヌ渓谷とローヌ渓谷を通り、ブルゴーニュからプロヴァンスに続くこれらの地域を、国際的規模で、フランス料理の代表的な美食の探訪先として定着させ、永続させることを目指しています。豊かな郷土

料理と本物のレシピ、そして、情熱と卓越を共有することに高い価値観を置く、これらの地域は、優れたクオリティの文化・自然遺産に恵まれた環境の中で、格別な美食体験を提供します。

ディジョンーマルセイユ間の美食の旅



お出かけ

活気ある街に 魅了される

アヴィニオンで最も絵になる場所のひとつ、タンチュリエ(染色工)界隈(le quartier des Teinturiers)では、製造者組合が20カ所に及ぶアート、クリエイター、美術工芸を紹介する場所をまとめています。デザイン、テキスタイルアート、装飾、ファッションアクセサリー、都会的な文房具店、家具、現代美術など分野は様々です。活気と雰囲気の良さはお墨付きです!

数多くのレストラン、バー、今話題のショップがあるサン・ディディエ界隈(le quartier Saint Didier)やデ・コール・サン広場(la place des Corps Saints)がおおすすめです。



ル・ニ(Le Nid)で禅のひと時を過ごす
教皇庁地区で、心身を大切に過ごすひと時をお過ごしください。

ル・ニではヨガ教室やマッサージ教室、アトリエ(刺繍、織物、マクラメ、アップサイクルなど)を提案しています。ご依頼があれば、アヴィニオンの象徴的な場所(教皇庁宮殿、博物館・美術館、私立庭園など)でのヨガ教室も企画しています。ル・ニの食堂では「ヘルシーフード」メニューを提案。フランスで唯一の場所です!

inspireyogaavignon.fr

**ル・グラン・カフェ・バレッタ
(Le Grand Café Barretta)**
アットホームで革新的なプロジェクト。

その名の起源である最初のカフェがあった場所に作られた、ル・グラン・カフェ・バレッタは、パリのブルスリー「ブイヨン・カルティエ」から発想を得た、アールデコ様式の雰囲気が素敵な皆の憩いの場です(総面積500m²、年中無休)。ナポレオンが、その時代としてはかなり高額であった60フランの付けをここに残したというエピソードも残っています。お財布に優しいアットホームな料理を提供。カフェには、大きなエノキの木がある120席のオープンテラスや本棚のある板張りのミニサロンもあります。150席の明るい大ホールは、アヴィニオン演劇祭期間中の7月には劇場に変身します。

grandcafebarretta@gmail.com

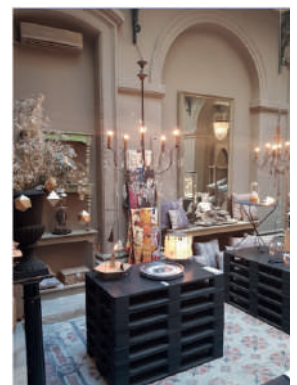


VOX POPULIカンパニー

好奇心の宝石箱のようなVox Populiは、クリエイター兼インテリアデザイナーであるパスカル・パランのショールーム兼ブティックで、線と素材を通じて優しさと強さが結びつき、ストーリーを物語る、詩心に満ちたオブジェたちが隠れています。

信じられないような陶酔を味わえるこの驚きの空間では、豊富な言葉で、自分が感じることを表現できるはず。確かなのは、決して無関心ではられないということです。

35 bis, rue Bonneterie.



散策

バルトラス島で 自然を楽しむ

アヴィニョンにも島があるのです！

歴史的な中心街からも徒歩数分、アヴィニョンとヴィルヌーヴ・レ・ザヴィニョンの間にあるローヌ川の2つの支流 - ヴィルヌーヴ側の大ローヌ、アヴィニョン側の小ローヌ - に挟まれたバルトラス島 (l'île de la Barthelasse) は700ヘクタールの自然と静けさを有しています。

島を一周するには自転車がおすすめ。サイクリングコースが数多く設置されています。散策の際には、農園で地元の特産物を購入したり、**マンガン蒸留所 (la distillerie Manguin)** を見学したりもできます。自然の中、平らな道をのんびりと散歩するのもおすすめです。

とても静かで快適な河岸沿いの道からは、アヴィニョン橋、ロシェ・デ・ドン公園、教皇庁宮殿の素晴らしい風景を望むことができます。ジョギングや散歩、さらに緑の中で空想にふけるには理想の場所です。

ローヌ川クルーズ (散策クルーズ船 - ローヌ川でのランチやディナー - カヤックのレンタル) も可能です。



自由見学・ガイドツアーのご予約: groupreservation@avignon-tourisme.com

発見する ツアー

アヴィニオン近郊を 観光する

フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズ (Fontaine de Vaucluse)、モン・ヴァントウ (le Mont Ventoux)、ルシヨンの黄土の崖、リュベロン地方と鷹の巣村、カマルグとローヌ川のデルタ地帯、ポン・デュ・ガール、レ・ボー・ド・プロヴァンス (les Baux de Provence) やアルピーユ山脈など、アヴィニオンを出発してすぐに多彩な観光スポットにたどり着くことができます。



享樂の週末をご希望ですか？

レ・アルにてシェフ、ジョナサン・チリとの料理教室、あるいはル・カレ・デュ・パレでのワイン醸造学のアトリエ。

午後は、製造者のアトリエを訪れながらタンチュリエ地区とサン・ディディエ地区を見学。カフェ・バレッタでの休憩がおすすめです。

2日目:ル・カレ・デュ・パレでのワイン醸造学のアトリエとシャトーヌフ・デュ・パプ (Châteauneuf du Pape) の見学 (ワイン試飲有)。

さらに:アヴィニオン・ツーリズムのガイド同伴による自転車での見学も可能です。

ちょっとした休憩をご希望ですか？

1日目:午前中、教皇庁宮殿、アヴィニオン橋、造幣局のファサードを望む宮殿広場、ノートルダム・デ・ドン大聖堂やローヌ川に張り出した、川沿いと当地方の驚くべきパノラマ風景が広がる素晴らしい公園、ロシェ・ド・ドン公園を見学。

午後にはプティ・パレ美術館と有名な古代ローマ時代の水道橋ポン・デュ・ガールを見学します。

2日目:ストリートアート散策コースや製造業者街でのショッピング。

ル・ニでリラックスしたひとときを自分にプレゼント!

さらに:夏にはガルドン川での水浴びを楽しむのがおすすめです。

3日間のご滞在ですか？

1日目：アヴィニオン観光。

2日目：アヴィニオン - アルル (Arles) 間、アルピーユ山脈などを観光。

見学1：グラヴゾン (Graveson) 村の**アロマと香水博物館**。アルピーユ山脈とモンタニェットの丘 (Montagnette) の間、この大自然の中に、オーガニックと自然に回帰した素晴らしい場所があります。原点に立ち戻ってみましょう。ヨーロッパで最も美しいアランビック (蒸留器) のコレクションのひとつをごゆっくりご覧ください。アロマセラピーを学んだり、ハーブ庭園での贅沢なひとときを楽しんだりしていただけます。

次に、フェリブリージュ (Félibrige) の創立者で、高名な詩人である**フレデリック・ミストラル (Frédéric Mistral)** を生んだ小さな村、マイヤーヌ (Maillane) へと旅を続けます。詩人の足跡を辿って旅立ちましょう！アペリティブ (食前酒) の時には、ロゼワインかパステイスを村のバーのテラスで味わってみてください。**フォンヴィエイユ (Fontvieille)** 方面へ進み、プロヴァンスのロマネスク様式の最も美しい例のひとつ、サン・ガブリエル礼拝堂 (la Chapelle Saint Gabriel) へ。

次の見学地は、5000本ものオリーブの木に囲まれた11世紀建造のサン・ジャン礼拝堂 (la Chapelle Saint Jean) の陰にひそんだ**マス・サン・ジャンの精油所 (le Moulin à huile du Mas Saint Jean)** です。先祖代々より家業を受け継ぐスルドン家が、12世紀のプロヴァンス様式の農家小屋で地元産のオリーブから素晴らしいAOCオリーブオイルを抽出しています。娘と孫娘のアンとマガリが、オイルにかける情熱を皆様と分かち合い、製品のテイastingを提案しています。

3日目：アルルとカマルグ

午前中に「**ユネスコの世界遺産**」または「**ヴァン・ゴッホの足跡**」をテーマにした**アルル**観光をし、その後カマルグ自然保護区に向かいます。カマルグは**鳥の楽園**：その多くはカマルグに定住している留鳥ですが、渡り鳥もいます。この湿地帯は鳥の渡り、特にツルの渡りを観察するには絶好の場所です。フラミンゴやセイタカシギ、ソリハシセイタカシギ、ヨシキリ、野生のハクチョウなどを観察することもできます。ポン・ド・ゴー鳥類公園 (le parc ornithologique du Pont de Gau)、ヴァカレス湖 (l'étang de Vaccarès) や、巡礼地でありプロヴァンスの伝統が残る村、**サント・マリー・ド・ラ・メール (Saintes Maries de La Mer)** などを見学。空と海に挟まれたこの村には、9世紀の要塞教会やカマルグ地方の伝統を紹介した博物館があります。

さらに：**アロマと香水博物館の、樹齢100年のプラタナスの木陰と穏やかで静寂な雰囲気の中でのランチもおすすめです。**





4日間のご滞在ですか？

リュベロン地方とフランスで最も美しい村々をめぐる一日をプラスするのがおすすめです。

アルピーユ山脈と地中海のはざまにあるリュベロン地方では多様な風景を見ることができます。旅程の最初にはルールマラン(Lourmarin)村と15世紀に建造され、ルネッサンス時代に増築された城を訪れます。次に、エギュブラン渓谷(des gorges d'Aiguebrun)のハイキングコースでリュベロンの山塊を横断し、ボニユー(Bonnieux)村へ向かいます。村の城塞からはカラヴオン渓谷(la vallée du Calavon)の驚きのパノラマ風景をお楽しみいただけます。

ゴルド(Gordes)村での昼食後、画家ヴァザルリや写真家ウィリー・ロニをはじめとする多くのアーティストを迎え入れたこの素晴らしい村を見学。

セナク修道院見学。12世紀に建造され、非常に簡素な風格の修道院。現在、修道院は歴史的建造物に指定されています。見学ガイドツアーでは、修道院内の禁域と修道院付属教会を見学することができます。

この一日を通して、南仏特有の日干しれんが小屋に見とれてください。羊飼いの鄙びたあずまやとして使用されていた日干しれんが造りの小屋は、リュベロン地方の典型的な風景の一部をなしています。

ルシヨン(Roussillon)村は丘の頂上に作られた村で、その土地は黄土のために利用されました。これらの旧採石場が、はっとさせる色の素晴らしい風景を作り上げています。散策コースも数多く設置されています。

さらに：夏には周辺全域で栽培されているラベンダー畑がシトー会様式の修道院と素晴らしいコントラストを作り出します。





4日以上のご滞在ですか？
6月～7月のご滞在ですか？
ラベンダーをご存知ですか？

ラベンダーの開花の季節は大変短いものです：ヴァンソル (Valensole)、ソー (Sault)、リュベロン地方の青く染まった畑を称賛できる時期は**6月最後の週から7月の第2週**までです。

7月15日を過ぎれば、ラベンダーの収穫時期です！
ラベンダーの花が開花して新鮮な状態の時に畑を刈ります。上質のエッセンシャルオイルを得るために、収穫されたラベンダーはすぐに蒸留工場へ運ばれます。一部の蒸留工場では見学や製品の購入が可能です：レ・ザグネル製造所 (Distillerie les Agnels - Apt)、レ・クーレ製造所 (Distillerie les Coulets - Apt)、ル・ヴァロン・デ・ラヴァンド (Le Vallon des Lavandes - Sault)、アロマプラント (Aroma'Plantes - Sault)、ブルー・ダルジャン農園 (Ferme Bleu d'Argens - La Mure-Argens)、コッタ農園 (la Ferme Cotta - Puimoisson)、アンジェルヴァン農園 (ferme Angelvin - Valensole)、ラベンダー博物館 (Musée de la Lavande - Coustellet)、ラベンダー農園・製造所 (ferme lavandicole et distillerie - Lagarde d'Apt) など。

古代ギリシア・ローマ時代より、ラベンダーは**治療と気持ちを静める効果**で知られています。プロヴァンスの象徴でもあるラベンダーは、香水や化粧品、アロマテラピー製品に使用される**エッセンシャルオイル**用に栽培されています。プロヴァンスでは細身のラベンダーとラバンディンの品種を生産しています。ラベンダー畑は数世紀来、私共の農業の一部となっています。

花畑を眺めることは、一種の魔法のスペクタクル。その香りに驚いていただけるに違いありません。



マルセイユ旧港での有名なカードゲーム中のセザール:

《 君が俺の心を引き裂くぜ 》

マルセル・パニョールの三部作を読んだことはありますか?映画化された作品はお好きですか?
そうであれば、この一日はもうあなたのものです!

まず、このプロヴァンス地方の小旅行をフランスで最も古い都市、マルセイユにてスタートさせます。フォカエア出身のギリシア人達によって紀元前600年に作られたこの都市は、「フォカエアの都市」という意味のマッサリアと呼ばれていました。フランス最大の商業港でもあるマルセイユは、海と丘に挟まれた街です。松林や石灰質の岩石、灌木林や街をとり囲む野生の岩に囲まれた入り江などの素晴らしい風景を有しています。プロヴァンス地方の都市、マルセイユの見逃せない観光スポットをご案内いたします:19世紀に建造された標高162mの位置から海に張り出し、マルセイユの街を見守るノートルダム・ド・ラ・ガルド寺院 (la Basilique Notre Dame de la Garde); マジョール大聖堂 (Cathédrale de la Major); バロン・デ・ゾフ (Vallon des Auffes) の小さな漁港など。続いて、有名な《ラ・カヌビエール - la Canebière》大通りにお連れします。この大通りは旧港と崖沿いの道に続いており、崖沿いの道からはフリウル島 (les Iles de Frioul)、イフ城のあるイフ島 (l'île du Château d'If)、地中海そしてマルセイユのカランク (Calanques de Marseille) などを望む絶景を楽しめます。

このプロヴァンスの旅のコースを続けるには、パノラマ風景が広がるジネスト峠 (le col de la Gineste) のルートを通り、マルセイユのカランク山塊 (massif des Calanques de Marseille) を横断しながら、カシ (Cassis) 村に到着します。豪華な景観の中心部に位置したこの小さな漁港・停泊地では、湾に張り出している色とりどりのファサードに目を奪われることでしょう。お客様のご都合に合ったお食事の後、ショッピングやカフェ、レストランなどが立ち並ぶ港沿いをゆっくり散歩していただけます。その後、お好みでカシの入り江を見渡せる湾岸クルーズや、この楽園の一角での海水浴をお楽しみください。

*マルセル・パニョール:フランスの小説家、劇作家、映画作家、監督。1895年2月28日オーバーニュ生まれ、1974年4月18日没。1929年3月に劇場で上演された『マリウス - Marius』で有名になる。



プロヴァンス地方の日差しがお好きですか?

クロッキー帳と画架を持って、
画家の足跡
を辿りましょう。

ヴァン・ゴッホの足跡をたどる:
アルル - サン・レミ・ド・プロヴァンス (Saint Rémy de Provence)

2年以上もヴァン・ゴッホが滞在したプロヴァンス地方で、彼を魅了したのはその光でした。彼の足跡を辿り、彼が300点以上もの作品を描くために画架を立てた場所を発見してください。ゴッホが描いた光の中での素敵な散歩!

エクス・アン・プロヴァンス周辺の
ポール・セザンヌが描いた風景

セザンヌがエクス・アン・プロヴァンス周辺で好んで描いた風景、ビベミュスの石切り場 (carrières de Bibémus)、シャトー・ノワールの森の松、サント・ヴィクトワール山の雄大な名所などを発見してください。

活動的な一日をご希望ですか？

レ・アル(屋内市場)で食べ物を買って、自転車でバルテラス島に出かけましょう。さらにローヌ川をカヌーで下ってみてください。

さらに:冒険したい方には、ヘッドライトの光での夜の川下りがおすすめです。



アンティーク探しをご希望ですか？

当地方で最も美しい村のひとつであるリル・シュル・ラ・ソルグ(L'Isle sur la Sorgue)が、アヴィニョンの近郊にあります。日曜日にはアンティーク市を散策してみましょう:テキスタイル、ガラス製品、陶器、陶器、陶磁器などを見つけることができます。さらに、地元特産品やチーズ、パン、ヌガー、カリソン、リュベロン地方で栽培されたチェリーをはじめとする旬の果物などを集めた食料品のマルシェもあります。フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズから散策を続けるなら、リュベロン地方のゴルド(Gordes)へもすぐそこです。

歴史を辿る旅をご希望ですか？

歴史を辿る旅は、ノルマンディー地方以外にもあります。

プロヴァンス伯爵領アヴィニョンとヴナスク伯爵領(le Comtat Venaissin)は、教皇に帰属した最後の領地であり、プロヴァンスにとっては1501年まで、教皇領としてはフランス革命まで、常に南仏に住むユダヤ人コミュニティの庇護の地でした。プロヴァンスの歴史上ではあまり知られていない内容ですが、非常に興味深いものです。公認ガイドが、「教皇のユダヤ人」と呼ばれていたプロヴァンス伯爵領のユダヤ人コミュニティの歴史を皆様にご紹介いたします。

プロヴァンス地方のユダヤ遺産をテーマにした滞在:アヴィニョン - カヴァイヨン(Cavaillon) - カルパントラ(Carpentras) - ペルヌ・レ・フォンテーヌ(Pernes les Fontaines) - リル・シュル・ラ・ソルグ - エクス・アン・プロヴァンスのレ・ミル収容所跡(le Camp des Milles)。

伝統をお望みですか？

他にはない本物の体験をご提案します。

アヴィニョンのパレ・デュ・ルールを見学後、ソルグ(Sorgues)へ向かってください。歴史建造物にも指定されている一族の城では、マリンヌとシャルル=ユーベール・ドゥ・ブラント(Marine et Charles-Hubert de Brantes)がシンプルかつ魅力的なおもてなしをいたします。「傑出した庭園 - Jardin remarquable」にも格付けされているトスカーナ風の庭園。

さらに:ランチ、食事、アペリティフ、オーナーによるコンサートや見学などの企画も可能です。

フェスティバル・イベント

一年中 驚きの連続

2024年の主なイベントスケジュール

《予定 - 一部の日程は変更される場合があります》

1月

フェスティベール (Fest'Hiver) :
地域の若手劇団員たちが手掛ける演劇祭

シュヴァル・パッション (Cheval Passion)
冬の乗馬フェスティバル。シュバル・パッションでは、乗馬に捧げられたお祭りのために、アヴィニョンの馬と騎手たちが集います。
1200頭の馬、250以上の出店者が参加する、90時間にも及ぶスペクタクル馬術のフェスティバル。ガラ・デ・クリニエール・ドール (Gala des Crinières d'Or) の上演、ヨーロッパで最も美しい乗馬スペクタクルも披露されます。
www.chevalpassion.com

2月

レ・イヴェルナル・ダヴィニョン
(Les Hivernales d'Avignon)
コンテンポラリーダンス フェスティバル。あらゆる年齢層を対象とする数々のスペクタクル、全レベル向けの講習、インスタレーション、ビデオ上映等。

その他のフェスティバル - 本を開くフェスティバル
(Le Festival qui ouvre les livres)
市内の複数の場所で、円卓会議、サイン会、朗読、小説ワークショップなどが開催されます。

3月

フェスティバル・アンダルー (Festival andalou) : ダンス、音楽、展覧会。
3月17日-4月1日

フェスト・ピショ (Festo Picho) 子供向けのライブスペクタクル

アヴィニョン・モーター・フェスティバル (Avignon Motor Festival) : 自動車/バイク見本市

4月

春の見本市 (Foire de printemps) : アール・ド・ヴィーヴル、ガストロノミーなど

5月

教皇たちの夜 - アーバン・トレイル (Urban trail)
5月のいずれかの週末。教皇庁宮殿、アヴィニョン橋、ロシエ・ド・ドン公園など、夜間特別に開かれたアヴィニョンの史跡を急ぎ足で巡りながら見学できます。

ル・ブランタン・デ・クレアトゥール
(Le Printemps des Créateurs)
市内の広場や道端で、クリエイターや工芸職人が作品を販売。

ラ・ヌイ・ユーロピエンヌ・デ・ミュゼ
(La Nuit Européenne des Musées)
国家的イベント。市内の美術館が夜間一般公開されます。

6月

ランデヴー・オ・ジャルダン
(Rendez-vous aux jardins)
公立または私立の庭園・公園の見学。講演会も有。

レ・エスティヴァル・デ・コート・デュ・ローヌ
(Les Estivales des Côtes-du-Rhône)
6月の木曜日の夜: 近隣の産地のワイン試飲や生産者に出会える夕べ。音楽の流れる美しい庭園で行われます。

7月

有名な
アヴィニョン演劇祭 (Festival d'Avignon)
7月
アヴィニョン演劇祭では、これまで常に、国内外の優れた舞台芸術作品と、現代的創作が上演されてきました。最も偉大な俳優や舞台監督がここから誕生しました。オリヴィエ・ピイは、2014年以来、この演劇祭の創始者の後を継ぎ、演劇祭を指揮する初の舞台監督です。彼は、自身のアイデアに忠実に、活動家の精神に基づいて、観客に「政治が思想や希望と切り離されていない、世界との新たな関係」を提案します。
www.festival-avignon.com

ル・フェスティバル・オフ (Le Festival OFF)
7月7日~29日
フランス各地と世界中から集まった1000以上の劇団による1600以上のスペクタクル上演。演劇、音楽劇、舞踊、カフェ・テートル、ストーリーテラー、曲芸、クラウン、パントマイム、詩など、あらゆる分野の舞台芸術が集結します。

フェスティバル・レゾナンス (Festival Résonance)
サン・ベネゼ橋などの名所で行われる現代音楽祭。



8月

アヴィニョン・ジャズフェスティバル
(Avignon Jazz Festival)
8月上旬

バン・デ・ヴァンダンジュ (Ban des Vendanges)
コート・デュ・ローヌのブドウ収穫開始を告示するイベント
(8月下旬)。

9月

教皇庁地区の10km
(Les 10 kms de la Cité des Papes)
スポーツイベント

シェフ達のピクニック
(Le pique-nique des Chefs)
10月初旬

庶民的な美食の祝日を作りたいと願った、15人のシェフたちの団体、「アヴィニョン・チュ・ム・レガル」(Avignon, tu me régales) が丹念に作り上げたランチボックスで美食を発見。この大規模なピクニックは、バルトラス島のローヌ川の畔で開催されます。

メディエヴァル・デ・カルム (Médiévales des Carmes)
中世の雰囲気の中で、カルメル会の建造物全体で開催: 中世を紹介するコーナー (闘技 - ゲーム - 音楽 - ダンスなど)、中世のマルシェ、討論会、中世の饗宴 (バンケット) など。

10月

アヴィニョン・ヴェロ・パッション (Avignon Vélo Passion)
あらゆるサイクリングスポーツを集め、紹介するフェスティバル

イタリア週間 (Semaine italienne)
お祭りの雰囲気の中でイタリア文化を祝う1週間: スペクタクル、展覧会、グルメマルシェなど。

アート散策コース (Le parcours de l'Art)
3週間、約30名のアーティスト (造形作家、画家、写真家など) が街中に作品を展示します。

コート・デュ・ローヌ マラソン
(Le marathon des Côtes du Rhône)
10月の日曜日

NOVEMBRE

ミルヴァン (Millevin)
コート・デュ・ローヌ地区とアヴィニョンでのヴィンテージを発表するお祭りイベント: ワイン組合のパレード、テイスティング・アトリエなど。

BD (バンド・デシネ) フェスティバル
週末の時間: サイン会、催し物、展示会。
第九の芸術の世界に浸る。

美食の週末: ビャンヴニュ・ア・ラ・フェルム (Bienvenue à la Ferme)
ビャンヴニュ・ア・ラ・フェルム ネットワークの農家と畜産業者が、暖かい雰囲気の中で、農産物や製品を紹介します。

12月~1月上旬

クリスマス・イベント
サントン人形、街路でのパレードやスペクタクル、ノエルの迷路、手作りアトリエ、グルメマルシェやクリエイターのマルシェ、子供村などもあります。さらに、クリスマス数日前に設置される教会内のクレッシュ (キリスト誕生の場面を再現した飾り)、プロヴァンス文化のメッカであるパレ・デュ・ルールのクレッシュやプロヴァンス地方の伝統の習わしなど。

すべてのイベントスケジュールは
www.avignon-tourisme.comにて
ご覧ください



お車での所要時間

- アビニョン > アルル: 35分
- > ユゼス: 35分
- > エクス=アン=プロヴァンス: 1時間
- > マルセイユ: 1時間
- > モンペリエ: 1時間
- > ニース: 2時間30分
- > リヨン: 2時間30分



Mer Méditerranée

ビジネス ツーリズム

アヴィニオンを お選びください

アヴィニオンを選ぶ 5つの理由

アヴィニオンはビジネスイベントの戦略的な交差点です

教皇庁宮殿の中心にある国際会議センター

ユネスコの世界遺産に登録されている格別な場所で、お客様の会議、協定、セミナーやミーティングの企画準備を最初から最後まで一人の担当者がサポートさせていただきます。

会議センターには風格ある会議室を16室(20~536名収容可の会議室、700名収容可のレセプション、1 800 m²の広さの展示会スペース)ご用意しております。

大容量の見本市会場

高速道路のアヴィニオン南出口(Avignon Sud)から約2分:一階部分に7つのホール:総面積50 000 m²の敷地に15 000m²の見本市スペース。無料駐車場、大規模なイベントの開催が可能な920席を有した会議室:プロや一般向け見本市、会議、コンクールなど。

www.avignon-congres.com

セミナー開催に対応したホテルプラン

教皇庁から徒歩圏内のホテルの客室1800室を含む4800室

アヴィニオンにはビジネスミーティングやセミナー用の会議室を設置したホテルが数多くございます。

officetourisme@avignon-tourisme.com

イベント・サービス

アヴィニオン・ツーリズムのレセプション・サービスは会議・ミーティング・セミナーの際のリフレッシュを目的としたスポーツ・娯楽・文化イベントをご提案しております。ご依頼の上、個人に合わせたお見積もりをいたします。

groupreservation@avignon-tourisme.com

充実した鉄道・航空の 連絡網

(アヴィニオンにお越しになるには - Venir à Avignon のページをご参照ください)



自由見学・ガイドツアーのご予約: groupreservation@avignon-tourisme.com

アヴィニョンに お越しになるには

アヴィニョンTGV駅

アヴィニョンへの通常運行例:

パリ・リヨン駅(2時間38分)

1日にTGV17本

ロワシー・シャルル・ドゴール駅(3時間)

1日にTGV17本

リール(4時間30分)

リヨン・サン・テグジュペリ駅(1時間30分)

リヨン・パール・デュール駅(1時間10分)

マルセイユ(30分)

ユーロスターロンドンのセント・パンクラス駅

年中運行(7時間)

マドリッド(8時間)

バルセロナ(4時間30分)

ブリュッセル(5時間30分)

ジュネーブ(4時間)

鉄道シャトルバス『ラ・ヴィルギュール』

TGV駅からアヴィニョン市内まで(所要時間6分)

1日70便運行(6:00~22:30)。

タクシー

+ 33 (0)4 90 82 20 20

国際空港

アヴィニョン・コーモン空港

市内から10分

ビジネス・プライベートジェット

イギリスからの直行便

www.flybe.com: サウサンプトンとバーミンガム

毎土曜日運行(5月~9月)

ロンドン: 7月~8月

追加情報は空港のサイトwww.avignon.aeroport.fr

をご覧ください

マルセイユ・プロヴァンス空港

アヴィニョンから45分

ターミナル1 - 多くの国内線と国際線が運航。ソウル、

モントリオール、トロント、テルアビブへの直行便。

ターミナル2 - ローコスト専用ターミナル

モンペリエ

アヴィニョンから50分

フランス国内からの直行便:

リヨン、ナント、パリ・オルリー、パリ・ロワシー

ヨーロッパからの直行便:

アムステルダム、ブリュッセル・サウス・シャルルロワ、

フランクフルト・ハーン、ロンドン・ガトウィック、マドリッ

ド。

アヴィニョンが 皆様のお役に立ちます

スタッフチームが皆様のご要望をお伺い
いたします。

団体のお客様とMICEのご予約

ご要望に合わせた見学・パッケージツアー・滞在企画の単
独窓口:

アヴィニョン・ツーリズム

団体受付窓口

groupreservation@avignon-tourisme.com

+ 33 (0)4 90 27 50 50

マルチリンガルでの受付

個人のお客様のご予約

ご予約

officetourisme@avignon-tourisme.com

+ 33(0)4 32 74 32 74

プレスお問い合わせ

ローリーヌ・ルーカス

l.lucas@avignon-tourisme.com

+ 33(0)4 32 74 36 56

教皇の宮殿*

入場料金 (企画展を除く)

ローマ教皇の宮殿、庭園と

正規料金: 12 €

割引料金 / 団体料金: 10 €

学費: 6.5 €

教皇の宮殿と庭園

正規料金: 14.5 €

割引料金 / 団体料金: 11.5 €

学費: 8 €

庭園のみ

正規料金: 5 €

8歳からの割引価格/グループ/子供: 3 €

学生料金: 自由 gratis

アヴィニオン橋

入場料金 (企画展を除く)

正規料金: 5 €

割引料金 / 団体料金: 4 €

学費: 3.5 €

アヴィニオン橋 + ローマ教皇宮殿の庭園

正規料金: 8 €

割引料金 / 団体料金: 4 €

学費: 3.5 €

ローマ教皇宮殿

+ アヴィニオン橋 *

入場料金 (企画展を除く)

庭園を含む

正規料金: 14.5 €

割引料金 / 団体料金: 11.5 €

学費: 8 €

庭園を含む

正規料金: 17 €

割引料金 / 団体料金: 13 €

学費: 9.5 €

ローマ教皇宮殿とアヴィニオン橋

一般料金(税込): 入場料金には10%の付加価値税が加算されます。

団体料金は20名様以上に適用されます。

無料: 大人団体: 付き添い1名 /

学生団体: お子様10名に付き添い1名 /

8歳未満のお子様 / バス運転手

アヴィニオン橋ガイド

付きパッケージ料金

税込料金: 付加価値税20%

モニュメントの入場料は含まれておりません。

ローマ教皇の宮殿、庭園と橋を除く

平日 145 € - 日曜日 180 €

祝日 230 €

ローマ教皇宮殿の庭園のみ

平日 120 € - 日曜日 150 €

祝日 200 €

ローマ教皇宮殿 + 庭園/宮殿のみ

庭園除く + 橋 / 宮殿のみ

庭園除く + 橋 + 街のツアー

平日 195 € - 日曜日 240 €

祝日 325 €

ローマ教皇宮殿 庭園 + 橋 + 街の

ツアー/宮殿 + 庭園 + 橋

平日 235 € - 日曜日 300 €

祝日 360 €

半日 (3時間)

テーマに基づいた旧市街

ツアー - 美術館

平日 195 € - 日曜日 240 €

祝日 325 €

1日 (6時間)

平日 310 € - 日曜日 445 €

祝日 490 €

地域ガイドツアーパッケージ

フランス語、ドイツ語、英語、スペイン語、イタリア語、日本語、オランダ語、ポルトガル語、ロシア語、ウクライナ語ツアー

税込料金: 付加価値税20%

モニュメントの入場料は含まれておりません。

1日ツアー = ガイドの

昼食はお客様負担です

(ご相談ください)

ご依頼の上、お見積もりいたします。

½ ツアー (4 時間)

平日: 235 €

日曜日: 300 €

祝日: 360 €

1 日ツアー (8 時間)

平日: 420 €

日曜日: 520 €

祝日: 660 €

延長

平日: 55 €

日曜日: 70 €

祝日: 85 €

ローマ教皇の宮殿とサン・ベネゼ橋の

営業時間:

1月1日から2月28日まで

11月6日から12月31日まで:

午前10時から午後5時

3月1日から11月5日まで:

午前9時から午後6時

最終入館時間:

13:00 モニュメント閉館前まで

ガイドツアーご利用条件 (10 言語)

キャンセルに関する条件

訪問の48時間前までに取り消しがない場合全額

徴収

訪問の8日前までに取り消しの場合

一部料金徴収

ガイド1人当たりの最大人数

団体 (大人): 40名

団体 (学校): 生徒30名

地方見学ツアー (観光バスでの移動):

ガイド1名あたり、付添人を含む合計50名まで

ドキュメントの表記料金は

参考のみとなります。

契約的価値を持つものではありません。



* 教皇庁の見学条件

Histopadを使用して、教皇庁を自由に見学

- アヴィニョン教皇庁宮殿またはサン・ベネゼ橋の入場券販売窓口、または観光局のブティックで、希望の時間帯の空き状況に応じて入場券を購入できます(時間帯を予約されることをお勧めします)
- インターネットでご予約いただけます: www.avignon-tourisme.com
- お電話でご予約いただけます: 00 33 (0)4 32 74 32 74

ご自身の公認ガイドと共に教皇庁宮殿を見学(欧州連合加盟国の管轄当局が発行する公式文書、欧州専門ガイドカード保持者であることが必要です)

1~8名 + 公認ガイド

公認ガイドは、発話権の支払いを免除されています。

- アヴィニョン教皇庁宮殿またはサン・ベネゼ橋の入場券販売窓口、または観光局のブティックで、希望の時間帯の空き状況に応じて入場券を購入できます(時間帯を予約されることをお勧めします)
- インターネットでご予約いただけます: www.avignon-tourisme.com
- お電話でご予約いただけます: 00 33 (0)4 32 74 32 74

9~19名 + 公認ガイド

公認ガイドは、発話権料を支払わなければなりません(教皇庁宮殿の見学は25€(税込)、サン・ベネゼ橋の見学は25€(税込)、両方の施設の見学は40€(税込))。

- アヴィニョン教皇庁宮殿またはサン・ベネゼ橋の入場券販売窓口、または観光局のブティックで、希望の時間帯の空き状況に応じて入場券を購入できます(時間帯を予約されることをお勧めします)
- インターネットでご予約いただけます: www.avignon-tourisme.com
- お電話でご予約いただけます: 00 33 (0)4 32 74 32 74

■ 発話権は、見学当日にその場でお支払いいただけます。発話権の予約は不要です。入場券を購入することで、時間帯の予約が保証されます。

29名以上 + 公認ガイド(ガイド1名につき最大40名)

公認ガイドは、発話権料を支払わなければなりません(教皇庁宮殿の見学は25€(税込)、サン・ベネゼ橋の見学は25€(税込)、両方の施設の見学は40€(税込))。

発話権は、各ガイドごとに適用されます。

- アヴィニョン教皇庁宮殿またはサン・ベネゼ橋の入場券販売窓口で、希望の時間帯の空き状況に応じて入場券を購入できます(時間帯を予約されることをお勧めします)
- 団体受付窓口でご予約いただけます:
メール: groupreservation@avignon-tourisme.com
電話: 00 33 (4) 90 27 50 50

■ 発話権は、見学当日にその場でお支払いいただけます。発話権の予約は不要です。入場券を購入することで、時間帯の予約が保証されます。

アヴィニョン観光局の公認ガイド付きで教皇庁宮殿を見学

- 団体受付窓口でのご予約が必要です。
メール: groupreservation@avignon-tourisme.com
電話: 00 33 (0)4 90 27 50 50

アヴィニョン観光局の公認ガイドによる見学:

パッケージ料金:
税込料金 - 付加価値税20%
(施設への入場料は含まれません)

教皇の宮殿(庭園なし) またはポンサンベネゼット

平日 145 € - 日曜 180 € - 祝日 230 €

教皇の宮殿(庭園なし)+ サンベネゼット橋

平日 195 € - 日曜 240 € - 祝日 325 €





お問い合わせ:

INCOMING GUIDED VISITS AND TICKET OFFICE SERVICE

grouppreservation@avignon-tourisme.com

Tél. + 33 (0) 4 90 27 50 50

INCOMING OFFICE MANAGER

Isabel HAUSMANN

i.hausmann@avignon-tourisme.com

PROMOTION SUPERVISOR

Philippe BONFIGLIO

p.bonfiglio@avignon-tourisme.com